

メディアラボ第19期展示 「匂わずにいられない！～奥深き嗅覚の世界～」 2017年12月13日(水)～2018年5月21日(月)公開

日本科学未来館(略称:未来館 館長:毛利衛)は、2017年12月13日(水)～2018年5月21日(月)の期間、メディアラボ第19期展示「匂わずにいられない！～奥深き嗅覚の世界～」を公開します。

食べものの匂いでおいしさを感じる、入浴剤の匂いが心と身体を安らかにするなど、くらしのさまざまな場面で匂いは重要な役割を果たしています。そのほかにも、医療現場で不快な匂いをやわらげたりするなど、その使いみちは広がっています。本展示では、近年の研究によって分かかってきた成果の中から、鼻が「匂い物質」をいかに捉えるのかという点と、脳が匂いをいかに感じ、感情にどう影響を与えるのか、という二つの視点から奥深い嗅覚の世界をご紹介します。

【展示概要】

「多様な匂いを感じる仕組み」

私たちヒトの鼻の内側には、400種類もの「匂いセンサー(嗅覚受容体)」が存在しています。空中を舞う匂い物質がこの匂いセンサーにぴったりはまると、匂いを感じることができます。また、この匂いセンサーの反応の組み合わせで多様な匂いを感じることができます。展示会場では、スマイルに含まれる匂い体験から「嗅覚受容体」に個人差があることを学んだり、複数の香りから別の香りを感じる「匂いの足し算」を体験したりして、匂いを感じる仕組みを学ぶことができます。

「匂いは感情をゆさぶる」

近年の研究で、匂いが脳や感情にはたらきかけていることが明らかになってきました。展示会場では、靴下の匂いにバニラの匂い成分を足すことで、その匂いがチョコレートのように変化し、ストレスが軽減されるという体験から、匂いが感情に与える影響を学ぶことができます。

公開初日の12月13日(水)には、本展示の出展者である東原和成氏(東京大学教授、ERATO「東原化学感覚シグナルプロジェクト」)が出席する取材会を予定しています。取材会の詳細は、後日改めてご案内いたします。本展示をぜひ貴媒体にてご掲載いただきますようお願い申し上げます。



本展示メインビジュアル

■概要■

名称	メディアラボ第19期展示「匂わずにいられない！～奥深き嗅覚の世界～」
会期	2017年12月13日(水)～2018年5月21日(月)
時間	午前10時～午後5時(入館券の購入は閉館時間の30分前まで)
場所	日本科学未来館 3階 常設展「メディアラボ」
入館料	大人620円、18歳以下210円
休館日	毎週火曜日(ただし、12/26、1/2、3/20、27、4/3、5/1は開館)、年末年始(12/28～1/1)
出展者	科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 ERATO「東原化学感覚シグナルプロジェクト」 (研究総括:東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 生物化学研究室 教授 東原和成氏)

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 / FAX:03-3570-9150 URL:http://www.miraikan.jst.go.jp/	日本科学未来館 事業部 展示企画開発課 広報・普及担当 Email:press@miraikan.jst.go.jp TEL:03-3570-9192 / FAX:03-3570-9150